

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	木田駅周辺地区における安心とにぎわいのまちづくり											
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	あま市											
計画の目標	本地区は、名古屋市の北西、海拔ゼロメートル地帯の平坦な地形に位置し、地区内の市街地は農地と隣接している。近年、駅前整備や土地区画整理事業により駅利用者の増加と人口増加が見込まれ、一層の安全・安心なまちづくりとにぎわいの創出が求められている。こうした中、駅周辺の更なる利便性向上と道路冠水等の軽減を図るため、木田駅前線の南伸、調整池整備、駐輪場整備等と併せて、まちづくり協議会によるイベント開催等、新旧住民の交流によるにぎわい形成を図ります。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,840	A	1,840	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)
1	安全・安心な暮らしを支えるため、調整池や水路整備による日常生活における不安の解消を図る。 災害に対する不安の改善度 5段階評価のアンケート調査の平均値(ポイント)(従前値2.5から目標値2.7)	3ポイント	ポイント	3ポイント
2	駅周辺の道路や駐輪場の整備により、駅利用の歩行者・自転車通行の環境改善させ、快適な道路空間の確保を図る。 地区内の歩行者通行量(人/日)	1395人/日	人/日	2040人/日
3	愛着が持てる、魅力あるまちづくりを進めるため、地域活動を活発にする意識づくりや人とのつながりを維持形成する。 まちづくり活動参加人数(人/年)	30人/年	人/年	100人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
あま市建設産業部都市計画課において実施。	令和7年度
	公表の方法
	あま市の公式ウェブサイトにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【指標1】 地下式調整池整備及び幹線水路の改修により、地区内の排水機能が向上し、災害に対する不安の改善が確認できた。 また、まちづくり協議会が毎年発行しているニュースレターや、協議会にて開催した工事見学会において、事業の整備状況を報告したことで、災害に対する不安の改善に寄与したと考えられる。</p> <p>【指標2】 行き止まりとなっている市道木田駅前線の南伸整備等により、地区内の歩行者交通量は増加すると考えられる。また、台数不足により場外に自転車があふれている駐輪場の拡張整備により、更なる自転車利用が促進され、自転車・歩行者交通量が増加すると考えられる。</p> <p>【指標3】 まちづくり協議会活動において、地元行事と連携した駅前マルシェの実施や、地区の歴史・文化を伝えるパンフレット「きだのれきし」の作成により、木田駅周辺のまちづくりに関する興味・関心を持つ住民が増えたと考えられる。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前マルシェの実施により、今後の継続実施に向けた体制構築の機運が高まった。</li> <li>・パンフレット「きだのれきし」の作成において、まちづくり協議会を対象としたワークショップを開催したことで、地元住民が地区の歴史・文化を振り返り、新旧住民に守り伝える機会が生まれた。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、安全・安心な生活環境づくりの実現に向けて、木田地区排水基本計画等に基づき、流出抑制や排水機能向上を検討する。</li> <li>・地域防災力の強化に向け、市の防災講座等の活用を通じて住民の防災意識の向上を図り、自主防災団体が行う避難訓練等の取組への参加を促進する。</li> <li>・市道木田駅前線への接続道路の整備や歩道整備等により、一層の安全性向上を図る。</li> <li>・新たに設立した地元主体の組織が、地域と連携・協力しながら、今後も継続して駅前マルシェ等の木田駅周辺のにぎわい創出に向けたイベント開催や、パンフレット「きだのれきし」の活用等による歴史・文化の継承を実施していく。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	災害に対する不安の改善度		
	最終目標値	3ポイント	地下式調整池整備及び幹線水路の改修により、地区内の排水機能が向上し、アンケート調査より災害に対する不安の改善が図られたため。
	最終実績値	3ポイント	
2	地区内の歩行者交通量		
	最終目標値	2040人 / 日	行き止まりとなっている市道木田駅前線の南伸整備等により、地区内の歩行者交通量が増加したため。
	最終実績値	2001人 / 日	
3	まちづくり活動参加人数		
	最終目標値	100人 / 年	まちづくり協議会活動において、地元行事と連携した駅前マルシェの実施や、地区の歴史・文化を伝えるパンフレット「きだのれきし」の作成により、木田駅周辺のまちづくりに関する興味・関心を持つ住民が増えたため。
	最終実績値	1333人 / 年	